

資料 「農業系高校の全国報道について」

平成 28 年 9 月調査

都道府県	学校名	活動名	報道日時	報道媒体	概要
北海道	新十津川農業	第2回フラワー&ガーデン選手権	平成 27 年 9 月 18 日	日本農業新聞	ガーデニング甲子園を含めた大会の結果と大会に向けての取り組み内容等を掲載。
	幌加内	教育実践	平成 28 年 2 月 7 日	TBSテレビ	そばに関する教育実践のTV放送(日本の力)。
	遠別農業	ふるさと納税	平成 27 年 4 月 5 日	フジテレビ	本校で生産、加工した生産物をふるさと納税の返礼品として全国へ提供し、本校のPRに努めている。
青森	五所川原農林	高校初の GLOBAL G.A.P. 認証	平成 28 年 3 月 18 日	日本農業新聞	国内の高校としては初めて、農産品に関する国際的な生産工程管理規格「グローバルGAP」の認証をリンゴ生産で取得した。
岩手	盛岡農業	第4回eco-1グランプリ	平成 27 年 12 月 13 日	毎日新聞社	使用済みペットボトルと公園の落ち葉を使って、広葉樹林の苗木育成に取り組んだ。持ち運び、植え付け、育成の面で大きなメリットが得られる。地元の種を用いて都市に自然林のビオトープを作る目的で運動公園や小学校等に植林した。
東京	大島	国際優秀つばき園認定	平成 28 年 2 月 26 日	NHKラジオ第一	毎朝ラジオにて、中国でのプレゼンの様子を生徒が話した。
			平成 27 年 10 月 16 日	毎日新聞(夕刊)	ツバキで元気を 高校生の庭園、国際団体が審査 という記事になった。
埼玉	熊谷農業	鈴虫献上	平成 27 年 9 月	NHK	鈴虫を宮内庁へ献上する。
茨城	水戸農業	農業高校潜入	平成 28 年 5 月 31 日	NHK Eテレ	番組「Rの法則」において、農業高校における女子の比率が高まっている現状を取材。実際に女子生徒が行っている学習活動を中心に、農業高校の実像を紹介した。
群馬	利根実業	野生動物被害対策	平成 28 年 1 月 2 日	The Japan Times	c.w.ニコル氏より直接オファーをいただき、The Japan Times コラムで活動が紹介された。
	中之条	動物科学研究部の活動	平成 27 年 8 月 8 日	デイリーマン	動物科学研究部の共進会での活躍。
			平成 28 年 4 月 1 日	デイリーマン	動物科学研究部の乳牛の改良と共進会に向けた取組。
静岡	富岳館	環境教育賞	平成 28 年 8 月 8 日	読売新聞	
石川	七尾東雲	第30回時事通信社「教育奨励賞」努力賞	平成 27 年 9 月 28 日	時事通信社	「地域と共に棚田を守る」で受賞が紹介された。
京都	桂	TAFS	平成 27 年 9 月 4 日	食糧新聞	京野菜アイスに注目。
			平成 27 年 8 月 21 日	毎日新聞	学校農業クラブ連盟近畿大会桂高校が3冠。
			平成 28 年 3 月	現代農業	発芽率95%自生地でタネをとって早期緑化。
大阪	能勢	能勢高ビザの開発	平成 27 年 10 月 20 日	朝日新聞	町民有志により結成された、農業の「6次産業化」を目指す能勢町付加価値創造協議会との連携により、本校農場生産物である野菜や黒米を用いた「能勢高ビザ」の開発から、文化祭での販売までの取り組みが掲載された。
		スーパーグローバルハイスクール(SGH)における養蜂への取り組み	平成 28 年 6 月 29 日	NHK	SGH受講生徒が、モンゴルでの貧困問題などについて現地調査を行うにあたり、その雇用支援対策として取り組まれている養蜂について、本校農場にて基本的な知識や管理方法を学んだ。
		地域の特産果樹と、それを用いた食品加工	平成 28 年 9 月 28 日	NHK	能勢地域の特産果樹であり、本校農場でも栽培しているクリ「銀寄」が取り上げられた。また、農業クラブ生徒が「銀寄」と共に特産品である高野豆腐や菊炭を用いて考案したうどんも取り上げられ、その試食も行われた。
	園芸	そば甲子園	平成 27 年 9 月 30 日	読売新聞	そば甲子園で最優秀賞を獲得。

都道府県	学校名	活動名	報道日時	報道媒体	概要
大阪	枚岡樟風風	学校紹介	平成 27 年 4 月 19 日	朝日新聞	枚岡樟風高校が取材され、その中でも特に農と自然系列の取り組みが紹介された。
		かるしおレシピコンテスト	平成 28 年 5 月 30 日	朝日新聞	かるしおレシピコンテスト当日とそれまでの活動の取り組みを紹介。
			平成 28 年 6 月 1 日	読売新聞	かるしおレシピコンテスト当日とそれまでの活動の取り組みを紹介。
			平成 28 年 6 月 6 日	読売テレビ	かるしおレシピコンテスト当日とそれまでの活動の取り組みを紹介。
兵庫	農業	プロジェクト発表	平成 27 年 11 月 19 日	日本農業新聞	農業クラブ全国大会での最優秀賞を受賞した内容に関する記事。
	但馬農業	リンドウ苗を移植	平成 27 年 6 月 27 日	BS 朝日	地方のススメ 養父市を産地に 農業特区で農業高校生がリンドウ苗を移植。
		繁殖農家の後継者	平成 28 年 1 月 11 日	関西テレビ	あしたのニュース 和牛高騰「プロの道に」あしたを担う卵たち！
		被災地に花を贈る	平成 28 年 3 月 12 日	関西テレビ	FNNみんなのニュース 農業高校生が、東日本被災地に花を贈る。
	篠山東雲	放置竹林解消プロジェクト	平成 28 年 7 月 4 日	日本教育新聞	本校では、近年急増している「放置竹林」に焦点を当て、竹を再生可能な資源として捉え、これまでにない活用法を確立するための研究を行っている。現在は、家畜飼料、バイオマスエネルギー(水素)、堆肥化等を行っている。これらの内容が紹介された。
鳥取	倉吉農業	第 14 回全日本ホルスタイン共進会出場	平成 27 年 10 月 18 日	日本農業新聞	県の共進会でチャンピオンに輝いた乳牛を第 10 部に出場させる。
		全国農業高校お米甲子園で最高金賞	平成 27 年 11 月 24 日	日本農業新聞	全国 79 校から 185 検体が出品され、その中から倉吉農業高等学校の「ミルクークィーン」が最高金賞を受賞した。
岡山	高松農業	第14回全日本ホルスタイン共進会	平成 27 年 11 月 1 日	全酪新聞	後代検定娘牛の部に高校特別枠で出場して 1 部 1 等賞 3 席 (9 位) に入賞、高校枠では全国トップの成績であった。
		全国高校生リードマンコンテスト	平成 27 年 11 月 1 日	全酪新聞	牛を引く技術を競う競技で、3 年生の部に出場した黒瀬美優さんが優勝してベストリードマンとなり、大会会長賞も受賞した。
徳島	城西	6次産業化プロジェクト事業	平成 28 年 7 月 28 日	読売新聞	城西高校、徳島科学技術高校・徳島商業高校の 3 校計 60 名の生徒が、城西高校の農場で藍の刈り取りや藍粉成しを体験した。これは、農産物の生産から、加工・販売まで一貫して取り組む「6次産業化」を学ぶ事業の一環で、今後は城西産の藍を使った食品や雑貨品の製造・販売に取り組む。
		阿波藍プロジェクト	平成 28 年 4 月 17 日	朝日新聞	阿波藍の種子を全国に送る取組で、送った件数が 1000 件を超えた。同校は環境や社会に配慮する消費者を増やす「エシカル(倫理的な)教育」の典型例として注目される中、今後は藍の魅力を地元でも広める活動を目指す。
			平成 27 年 2 月 3 日	日本農業新聞	徳島県の伝統産業を継承するため藍染の原料となる藍を栽培し、その種子を全国の希望者に無料配布する活動。2011 年よりスタートし、これまで 47 都道府県の 550 カ所に送った。
香川	飯山	ひまわり迷路	平成 28 年 7 月 4 日	日本放送	1 万本のひまわり迷路がお目見え(日テレ NEWS24)。
	久留米筑水	第43回毎日農業記録賞「高校生部門」優秀賞	平成 27 年 12 月 7 日	毎日新聞	将来は後継者として実家の鉢花栽培(シクラメン)を受け継ぎ、地域の農業の活性化に取り組んでいく。
長崎	北松農業	ダンチクの飼料化の研究		建設通信新聞	雑草であるダンチクを肉用牛の飼料として再利用する研究。
熊本	八代農業	ギネス記録認定	平成 27 年 9 月 16 日	日本農業新聞	本校で栽培したパンパイユ(重量 4859.7g)が最も重いザボン類として世界ギネス記録に認定された。
大分	大分東	農業部リボベジ研究会	平成 28 年 9 月 8 日	朝日新聞	本校リボベジ研究会の活動紹介が紹介された。
鹿児島	鶴翔	ジビエサミット販売	平成 28 年 2 月 13 日	テレビ	ジビエ肉を使った加工品の販売。
	伊佐農林	豚みそ缶詰「更生之素」	平成 28 年 4 月 10 日	大塚薬報	特集 HIGH SCHOOL BRAND「高校生の夢をカタチに」として、84 年の伝統に培われた伊佐の食文化製品として、掲載された。「更生之素」の誕生の歴史、原料の自校産黒豚、麦みそ、6次産業具現化の内容で紹介された。

都道府県	学校名	活動名	報道日時	報道媒体	概要
鹿児島	伊佐農林	県畜産共進会に挑戦	平成 28 年 8 月 1 日	aff(農林水産省)	特集和牛、牛の育成として「優れた母牛を育てる」の内容で紹介された。地域の畜産業の活性化につながる育成と県畜産共進会の取組についてを上げられた。
	種子島	優良系統サツマイモ苗の提供	平成 27 年 11 月 22 日	NHK	うまいっ！タイトル「ずばぬけた甘さ！安納いも～鹿児島県・種子島」で、産地の種子島で甘さを産み出す秘密を探る内容の中で、種子島の安納いも栽培の一端を担う生物工学班の「優良系統サツマイモ苗」づくりが紹介された。
沖縄	中部農林	介在犬活動	平成 28 年 8 月	朝日放送	ペットの殺処分についての「命の授業」。